

2019年度 北海道 NPO サポートセンター 活動報告

1. ビジョン・ミッション

ビジョン	北海道 NPO サポートセンターは、市民が主体的に社会課題に取り組み、新しい価値を創造することで、誰もが排除されず・多様性が保障された社会を目指します。
ミッション	北海道 NPO サポートセンターは、「社会課題解決」「価値創造」「市民参加」が実現されるように、NPO・市民・企業などをサポートします。

2. 各事業の実績一覧

■思いを形にする

コンサルティング機能

No	事業名		事業内容	実績
	メイン項目	サブ項目		
1	相談事業	1) 立ち上げ・創業相談	◇事務所にて立ち上げに関する相談を実施しました。 (月～金 10時～18時)	7件
		2) 運営相談	1) 法人運営、会計、経営等の相談を実施しました。 (月～金 10時～18時) 2) 事業承継の相談に対応しました。 ※重点課題	(1) 運営・会計相談 43件 その他 25件 (2) 特非) I&I の事業承継をサポート ・承継にむけた会議に同席 ・登記等の相談対応
2	ソーシャル活動起業・交流の場づくり	1) NPO の学校事業	◇NPO・ソーシャル活動に関心のある市民のための学校(講座等)を市民活動プラザ星園で実施しました。 ※重点課題	■「よのなかスクール」開講しました ※次ページ参照 <参加状況> 延べ 164名

TOPIC1 3月はコロナの影響による相談が増えました

<内容>

・新型コロナウイルス感染症防止対策によって NPO にも大きな影響が出ています。集まることができないために総会の開催方法をどうしたらいいか、事業収益の減少で運営が危ぶまれているなどの相談が多く寄せられました。

<今後>

・コロナによる影響が多くの NPO に出ている現状をふまえ、相談窓口の開設・資金助成などを検討していきます。

TOPIC 2 NPO 学校プロジェクト「よのなかスクール」を開校しました

<内容>

NPO 法成立 20 年を経た現在、NPO 等の意義や価値を個々の組織で継承することが難しくなっていることから、「NPO の学校」のプレ企画として「よのなかスクール」を実施しました。

第一線で活躍してきたリーダーによる知識継承、最先端の技術獲得のための体系化された研修プログラムを用意することにより、NPO スタッフの能力開発を推進するとともに、新しい NPO 人材の確保も目的としています。



<実績>

「発見する」「実践する」「共有する」3つのコース 15 の講座(2つはコロナで中止)を実施しました。

コース	日付	講座名	講師	参加人数
	10/12	オープニング NPO のはじめかた - 3つのケースから	金山敏憲、深堀麻菜香、宮本奏	15
発見する教室	10/16	自身の被虐待経験と子どもの生活や居場所について	二本松一将 子ども食堂研究家	17
	10/29	住民参加での「地域助け合い支え合い活動」	下川原清美 さっぽろ福祉支援ネットあいなび	8
	11/13	コミュニティにゲートをつくる - 地域内外の人々がともに歩む地域を目指して	佐藤真奈美 一般社団法人清水沢プロジェクト	11
	11/26	社会とアートの関係性と可能性	高橋喜代史 一般社団法人 PROJECTA	13
実践する教室	12/10	個人の力を引き出す人材育成とコミュニケーション力	高木晴光 NPO 法人くろす野外計画社	20
	12/23	納得! ソーシャルビジネス - マーケティング&マネジメントのツボ!!	加納尚明 NPO 法人札幌チャレンジド	13
	1/8	NPO 法人の会計と決算書	大原昌明 北星学園大学経済学部教授	12
	1/22	アルテピアッツァびばいに学ぶ事務局長論	加藤知美 アルテピアッツァびばい	12
共有する教室	1/25	伝えたいことは「水晶」に語らせる	堀直人 北海道冒険芸術出版	10
	2/2	カッコいいデザインを目指してはいけない	堀直人 北海道冒険芸術出版	10
	2/15	伝わる言葉/伝わる文章	荒井宏明 北海道ブックシェアリング	13
	中止	今すぐやってみたくなる! ファンドレイジング入門	橋本正彦 NPO 法人みなと計画	
	中止	人を巻き込み、育ち、共に活動をつくる	草野竹史 NPO 法人 ezorock	
	3/20	クロージング ソーシャルアクションでキャリアデザインをどう描くか		10

<成果>

・参加者が、「すぐに団体を設立するのは難しいが、いずれは障がいのある方の自立支援事業を始めたい。」
「NPO の活動とか、起業とかを考えたい」というような目標を持たた。

・分野を相互学習のコミュニティを構築できたとまでは言えないが、交流の場を多く設定することで、「同じ分野ではなく他分野の人たちに会って知識/スキルなどの知見を身につけたい。」「もっと多くの人たちと交流したいという思いが募った。」と語っていただいた。

No	事業名		事業内容	実績
	メイン項目	サブ項目		
1	サポート事業	1) NPO 法人バックオフィス支援	①会計サポート ※重点課題 ②事務局代行サポート ③広報サポート (HP 作成等)	① サポート件数：21 団体 ②③実績なし
		2) 共同事務所運営事業	①連携団体等の事務局運営 ・「NPO 推進北海道会議」・「北海道NPO ファンド」・「北海道NPOバンク / NPOバンク事業組合」・「北海道社会学会」の事務局機能。 ②共同オフィス運営	②共同オフィス運営開始 (10 月～) ・ボラナビ (11 月)、きたのわ (10 月～)、サステナビリティ・ダイアログ (20 年 4 月予定) の入居が決定。月 2 万円～ / 団体 ・星園に新たな部屋を借り、複数の団体が共同で利用するオフィスを運営。
		3) 評価	①組織診断・組織評価/事業評価の普及促進 ②社会的インパクト評価促進事業を北海道 NPO ファンドの事業として実施。	①10/4 伴走支援・社会的インパクトマネジメント研修、10/16 JCNE 組織評価説明会 10/26 千歳市共催 市民協働フォーラム 10/27 社会的インパクト評価シンポ。社会的インパクト評価促進事業は 5 団体対象に実施。
2	人材育成事業	1) 若手スタッフ研修会		実績なし
		2) テーマ別研修会	①会計定期学習会 ②リーダー懇談会	①「部門設定」「NPO 法人会計基準」「人件費」「福祉系 NPO の会計」「消費税」「遺贈寄付」「NPO の多様な働き方と労務管理」毎回 1～5 団体程度参加 ・別途「消費税セミナー」「事務力セミナー & 検定」を有料で実施
		3) 道内市民活動促進講座開催	◇札幌圏以外で市民活動の促進のための講座を実施。	実績なし
3	資金調達事業	1) NPO への助成	北海道 NPO ファンドと連携	・トヨタ財団札幌説明会の事務局を受託。 8/28、30 名参加 ・WAM 助成説明会 1/16、15 人参加
		2) NPO への融資	北海道 NPO バンクと連携	

TOPIC 3 会計サポートを強化しました

<内容>

- ・会計定期学習会を実施し、会計担当者同士の相互学習の場を目指しています。
- ・会計サポーター2名と共にサポート体制を整えることができました。

<課題>

- ・本事業の広報活動に力を入れることができず、サポート先団体数が増えません。

<今後>

- ・会計のみではなく、広く事務局代行のメニューを開発していきたいと考えています。

No	事業名		事業内容／当初計画	実績
	メイン項目	サブ項目		
1	市民と NPO をつなぐ事業	1) NPO への就業支援	①求人・就職促進のための有料職業紹介事業	・有料職業紹介を取得 (12 月) ・NPO への就職が促進するための事業の検討
		2) ボランティア促進	ボランティア参加する市民が増えるための取り組みを実施。	NPO 学校プロジェクトと連携 →延べ 3 名 NPO にボランティア参加
2	行政と NPO をつなぐ事業	1) NPO 基礎講座実施	NPO 基礎講座を自治体と連携して実施。	・札幌市市民活動サポートセンター・FRJ 北海道支部・サポセン共催 9/28 「借金嫌いは損をする？」NPO のお金の借り方 第一歩 参加 14 人
		2) 協働の在り方検討	協働が促進されるための講座等を検討。	実績なし
3	企業・金融機関等と NPO をつなぐ事業	1) 企業へのコーディネート事業	企業と NPO をつなぐコーディネート事業のあり方を検討。	1) 災害関係の実績 ・損保ジャパン→ボランティア参加 ・アクティオー重機の貸出 (低価格) ・イオン→ボランティア参加 ・札幌観光バス/プルデンシャル生命→相談のみ 2) 大学連携プロジェクト ・ろうきん、北洋銀行、北海道銀行と共同で実施予定
		2) 金融機関向け NPO 説明会	NPO への理解を深める説明会の開催を検討します。	2) 大学連携プロジェクト 同上
		3) 北海道ソーシャルビジネス支援ネットワークへの参画	・「ソーシャルビジネス in 札幌」への共催等を実施します。	8 月 21 日:「ソーシャルビジネス in 札幌」に共催・周知協力
4	地域と NPO をつなぐ事業	1) 自治会、商店街等との連携	地域課題に取り組む人材を増やす事業を検討。	実績なし
5	NPO と NPO をつなぐ事業	1) NPO 同士の交流の場づくり	①一杯の会 (NPO 北海道推進会議主催)	実績なし
		2) NPO 界若手交流の場づくり	①シミサル (若手交流会) を年 2 回実施します	実績なし

		3)テーマ別ネットワーク構築	①石狩川流域 湿地・水辺・海岸ネットワーク事務局 ②災害時の NPO ネットワークづくり (2)上記の経験を活かした今後の体制構築 ※秋山財団 ・災害時の NPO の役割を高めるための体制を各地のセンターと連携して進めます	①事務局を実施 ②胆振東部地震の支援活動 ・支援者同士(NPO・行政・社協等)の情報共有連携構築のための「情報共有会議」(4月~2月)、新たな支援者獲得のための「被災地応援ミーティング(5月)、道域連携のための道庁・道社協との連携構築を実施。 ・胆振の経験を次につなげるための道内の NPO による「北の国災害サポートチーム(通称:北サポ)」の設立サポート。事務局を実施。
6	中間支援センター同士をつなぐ事業	1)中間支援センター交流・研修会	道内各地の中間支援センターとの交流・研修会を年1回実施します。2020年度は室蘭開催予定	2019年12月9日~10日函館で開催 15名参加 →SDGs、指定管理がテーマ
7	市民と社会をつなぐ事業	1)高齢者の社会活動促進	①アクティブシニア事業 ※今年度で終了予定	NPO法人北海道社会的事業所支援機構事業が実施するアクティブシニア事業にアドバイザーとして協力。(拠点:旭川、紋別、室蘭、帯広)
		2)道内避難者への支援	①福島県県外避難者への相談・交流・説明会事業 ・福島県からの避難者に対する相談・交流会(ツアー等)を実施 ②道内避難者心のケア事業 ・避難者への情報誌の発送、相談窓口等	①相談窓口の拠点運営。福島ゆかりの地をめぐるツアー(美唄・三笠)、体験を聞き取るなどを実施。 ②カラカラ(冊子)を年4回発行(2回済み)。その他交流会も実施。

TOPIC4 道内の NPO 及び中間支援組織と「北の国災害サポートチーム」を結成しました

<内容>

・平成30年9月に発生した胆振東部地震で支援活動をしている NPO 団体および全道の NPO 支援センターが集まり、2019年10月に北の国災害サポートチームを設立しました。活動内容は、北海道内の災害時における活動、北海道外の災害時における活動、平時における活動の3つを軸に、行政、社協と NPO などの民間団体の連携構築、NPO 同士の連携体制の仕組みに取り組んでいきます。当法人は幹事団体として事務局を担います。

<今後>

・活動継続・発展するための資金確保が必要になります。助成金申請や北海道 NPO ファンドとの連携を今後は取り組んでいきます。

No	事業名		事業内容／当初計画	実績
	メイン項目	サブ項目		
1	市民向け講座・講演会		NPO・市民活動等に関する市民向けの講座・講演会を開催。	「金遣いは損をする？npoのお金の借り方」JAFRA 北海道支部共催 9/23 「社会的インパクト時代のマネジメント」12/13
2	調査・研究・提言事業	1) 調査研究事業	①道内 NPO 法人の現況分析 ・2018 年度事業報告書調査	残念ながら実施に至りませんでした。
		2) 政策提言	ロビー活動等への取り組みを検討。	アドボカシーに関する連続講座を自由学校遊と共催（「わたしからはじめる社会変革—アドボカシーのいろはを学ぼう」11/13~3/11
3	情報発信事業	1) NPO 情報の発行	毎月「北海道 NPO 情報」を発行し、会員等に送付。	毎月発行
		2) HP・SNS を通じた情報発信	HP・FB・Twitter で情報を発信。また、HP のリニューアルを検討。	各種情報を発信した HP はリニューアル検討せず。
4	社会実験事業	1) 研究会事業		実績なし
		2) 休眠預金の検討	・休眠預金に関する情報収集等。 ・資金分配団体の公募を検討。	北海道総合研究調査会が分配団体に採択。当法人は事務局を共同で運営。

TOPIC5 休眠預金による事業が始まりました

<内容>

・(1) 運営協議会（一般社団法人北海道総合研究調査会（HIT）＆サポセンで構成）の運営
2019 年度は 8 回の運営協議会に参画し、業務推進にあたり協議を行った。

(2) プログラムオフィサー業務

公募説明会の企画・運営／PO 研修への参加／助成プログラムの策定／助成申請相談窓口
審査準備／採択団体向け事前研修の企画／契約に必要な各種必要書類の作成、など

<今後>

・採択団体とは月に一度面談し、伴走支援をしていく。

3. その他活動・事業について

(1) 委員会等への出席

- ①審査委員・・・控除対象特定非営利活動法人審査委員会、ろうきん助成、全労済助成
- ②委員会等・・・子どもの貧困対策ネットワーク

(2) 会員数

目標：団体会員 200 団体、個人会員 100 人を目標

実績：2019 年度末 現在 164 団体（前年比-12）、個人 71 名（前年比+2）